

1. 献品の報告

- ①海苔 森眞澄様 (高校職員)
- ②セーター・ズボン・ジャケット類約20点 高橋規夫様 (高校職員)
- ③セーター・ズボン・シャツ類約20点 前田朱実様 (高校職員)
- ④ズボン・シャツ類約10点 日野真理子様 (幼稚園保護者)

これら①～③は3月9日(土)12時から五橋公園での炊き出しに提供され、雑貨コーナーに出品されました。ありがとうございました。 ※ ④は4月の炊き出しに出品させていただきます。

2. 現場では公園の中央に広く敷いたシートの上へ沢山の衣類や靴その他の雑貨を並べ、その周りをロープで仕切ります。100人以上の方が抽選で順番を決めて、番号順に仕切りの中へ入って行き、担当のボランティアにご自分の希望する品物を指差して受け取ります。皆さんがこのルールを守ります。ところが今回は、約6年ぶりに参加した私が雨男だったのか、大粒の雨が落ちてきて急きょ回収となり4月に再開となりました。持ち帰って干し、大事に保管してあります。

3. 夜回り(3月9日)報告

今回の参加も旧図書館方面だった。五橋公園隅の猫の小屋も作って暮らしている方は不在で、後で聞いたら入院中だった。夜回り・炊き出しでは病気や怪我のためでも薬を持ち歩くことはしない。歩ける人には、区役所の「保護課」の『医療券』をもらって医者を紹介してもらうことを勧める。お金や保険証がなくてもよい。対応する医療機関として多いのは市立病院の「医療相談室」である。歩くのも困難になったときは救急車を呼ぶことを勧める。但し退院しても大抵はまた路上に戻る。

福祉プラザは夜間の追い出しが掛かって不在。肴町公園の方たちに米やボンベ類を置いてから、勾当台公園へ。その後西公園へ。資材置き場の方は職を求めてよそへ行ったとのこと。橋の下は一人増えて3名になっており、そのうち一人は川原沿いの手製のハウスにいた。

歩道橋の下の方は工事中のためすぐそばに青テントを市の職員に張ってもらったと言って住んでいた。その話によると「昨日8日の朝まだ寝ていた5時頃に、近くの専門学校の寮生たち10人くらいに、三方向から一斉にテントへ石を投げつけられた。手近にあった鉄パイプを振り回して追いかけていったが、逃げていってしまった」とのことだった。これはさっそく正平協に報告し、キャップは翌日すぐに市の社会課に連絡し事実確認に向いてもらうことになった。事実ならばそれは一人のホームレスの問題にとどまらず、地域社会の安全の問題にもなるからである。

4. 炊き出し(3月12日)の報告

定期的な炊き出しは現在四つのグループが担当日を決めておこなっている。正平協(カトリック正義と平和仙台協議会)は毎月第2土曜日である。今月のこの日は前記で雨にあたられたことを報告したが、106人の野宿している方が集まった。大きいおむすび261個とバナナは一巡でたちまちなくなり、朝から用意した井一杯の豚汁は二巡半あたりで底をついた。

ホームレスの年齢層は高いかといえばそうでもない。40～50代が多いようだ。その中かなりの高齢者や20～30代が混じっている。女性は10人くらい。彼等の中の手慣れた人は、教会から荷を積んだ車が到着するやすぐさま準備を手伝い始めた。

7年前に出会った人たちがまだかなりいたことに驚いたが、私のように久しぶりに炊き出しに参加するボランティアに限らず、信者でもなく話を聞いて初めて夜回りや炊き出しに参加してみたという人たちもいる。今回初の参加の人の話「以前一緒に働いたことのある知り合い二人がホームレスをしているのに遭い、辛かった。飲食関係だが、現実の厳しさを感じた」

5. 四月の献品等のお願い

今回の炊き出しは4月9日になります。献品等ございましたらお預かりしますので、高橋までお願いします。

また、夜回りや炊き出しに参加してみたい方は覚までお知らせください。

～お詫び～

この通信も活動の紹介も純粋に高橋覚の個人的なものです。献品のご協力をお願いする関係から全員の方に配布させていただいておりました。ご自身の主義などからいって快く感じられない方に対しては押し付けに思われることでしょう。どうかご容赦くださり、その際には何気なく破棄下さいますようお願いいたします。